

平成26年度 学校評価 集計結果とまとめ



回答率	協議員	100%	92%
	保護者	68%	
	教職員	100%	
	CG	100%	

CG＝学校介護職員

学校評価に御協力くださり、誠にありがとうございました。
評価していただいた内容をまとめましたので、御覧ください。
多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重なご意見を多数いただきました。
学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

東京都立鹿本学園

平成26年度学校評価 集計結果とまとめ

(1)4段階の評価をプラス評価(4、3)とマイナス評価(2、1)とし、未記入を加え表示した。

(2)評価記号について(4者合計)

①マイナス評価10%未満(◎)

②マイナス評価20%未満(○)

③マイナス評価25%未満(△)

④マイナス評価25%以上(▲)

特別重点1「魅力ある学園教育の創出」

CG=学校介護職員

Q1 部門間交流や特別教室の共有等、併置化のメリットを生み出す教育活動の開発を行うことができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%	73%	17%	10%	81%	18%	1%	85%	12%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 特別な活動だけでなく、図書室の利用等日常生活の中で接点があり、挨拶する機会が増えた。 作業学習で、少しずつだが両部門の交流を行い、理解を深めることができた。 肢知一丸となって進もうという意識を十分に感じる。 行事は、他部門のお子さんを知るのに良い機会。 交流授業など、もっと部門間で深められると良い。 特別教室の共有を行っているが、人数が増えたので、教材教具や調理器具などの数の不足がある。 特別教室利用に関する利用のルールが未設定。全体的な管理が必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 来年度も、あいさつや場の共有などの両部門間の交流を大切にしていきたい。 必要に応じ、計画的に購入、補充をしていきます。 特別教室ごとに使用予定表を作成したり、教務部で調整するようにしています。事前に確認し、使用予定を記入したり伝えたりするようにしてください。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 1年目の経験を活かし、併置の学校に入って良かったと思えるよう、2年目はさらに教育活動を充実させていきます。 										

Q2 コンサートや読み聞かせ等、開校に伴う特別プログラムによる学園の一体感を感じることができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	80%	10%	10%	82%	6%	12%	90%	10%	0%	84%	9%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が実感できる場面設定があり、良い経験になったと思う。 コンサートは、もっと頻繁に行ってほしい。 開校に伴う特別プログラムが様々設定されていて、良かった。来年度以降も、何らかの継続を望む。 両部門共通の参加プログラムは良い。 両部門の全児童・生徒と一緒に集まるスペースがないのが残念。 特別プログラムでどのようなことが行われているのかよくわからない。 保護者も見学できると良い。 						<ul style="list-style-type: none"> みなさんに喜んでいただけるプログラムを計画できるように、今後も努めます。 『学びの虹』や、学年・学習グループのお便り等を通し、御紹介いたしますので、御覧ください。 スペースの問題もありますが、できる限り保護者も参加できるよう、工夫していきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 開校記念コンサートや「ひまわりのせいくらべ」等、2年目も引き続き、開校1周年の記念として計画して参ります。御期待ください。 										

Q3 N部門の学校生活支援ファイルを開発・活用した新校舎への円滑な移行ができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
未実施	0%	0%	100%				0%	0%	100%	0%	0%	100%

※評価時点では未実施でしたが、現在は新校舎が完成し、円滑に移行が進められています。

Q4 学校公開やPTAバザー、虹輝祭、公開研修等地域支援による地域との関係性強化が図られているか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	90%	0%	10%	91%	3%	6%	96%	4%	0%	92%	3%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 学校公開の来校者数が多く、地域からの関心が高まっていると感じる。 卒後の施設関係の展示販売が増えると良い。 地域との、関係強化はまだまだこれからと感じる。 目新しさがなくなる2年目以降、実質的に地域の力になる学校の資源提供やパイプ作りが求められると思う。 「鹿本学園」という名前が、まだ浸透していない。 不審者対策、セキュリティ面での配慮が必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 「鹿本学園」を、より多くの地域の方に知っていただけるよう、魅力ある活動の計画・立案・広報活動に努めます。 皆様に安心して過ごしていただけるよう、留意します。 						
今後の方針		引き続きよく理解してもらえよう、地域との関係性強化に努めます。										

Q5 案内や電話の応答、服装等、学園クオリティの基盤となる教職員の接遇マナーは向上しているか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	10%	20%	89%	6%	5%	92%	8%	0%	84%	8%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> みなさん笑顔で対応してくださり、気持ちが良い。 廊下で会っても、挨拶をしない先生がいる。 電話での対応も、丁寧で助かる。 電話対応は丁寧だが、丁寧すぎて話づらい時があるので、親しみやすさがほしい。 時間帯によっては、なかなか電話に出てもらえない時がある。 授業中は、電話を取り次いでもらえないことがある。 併置になったことで、電話で名前を言っても、伝わらないことが多い。 先生方の名札が読みにくい。名札を付けていない人がいる。 接遇マナーの研修があると良い。 始業式等で教職員がジャケットを着用すると、児童生徒も喜び、TPOを伝える機会になると思う。 教職員の服装を徹底してほしい。教員らしい服装や履物で通勤した方が良いのでは。 電話回線が少なく、電話をかけられないこともある。 校内表示については、案内を多くし図を統一していくなど、まだ改善していく必要がある。 個人差が大きい。 						<ul style="list-style-type: none"> 皆様に気持ち良く学校生活を過ごしていただけるよう、引き続き、接遇マナーの向上に努めていきます。 信頼していただけるよう、研修を取り入れ、教職員のマナーの向上を目指していきます。 TPOに応じた、学園職員らしい服装の徹底を図ります。 電話回線の増設を、東京都の手順にのっとって要望していきます。 N棟の完成と同時に、両棟共通の新たな校内表示を設置しました。引き続き、わかりやすい案内表示について、検討していきます。 						
今後の方針		引き続き、学園クオリティをあげる、教職員の接遇マナーの向上に努めます。										

特別重点2「効率的機能的な学校組織の確立による組織力向上」
Q6 指導に専念できる業務システムの効率化・合理化が図られているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	60%	0%	40%				67%	29%	4%	64%	14%	22%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・会議は合理化できている。 ・ICT設備が充実した。 ・システムが増えすぎて、サーバーへの負担が大きい。 ・学部会は省略できるのでは。 ・分掌組織の明確化がなされている。 ・分掌の掲示板があると良い。 ・業務量が多い。 ・これまでの単独校になかった新しい考え方が具体的に示されており、責任所在も明確でよい。 ・2年目以降、微調整していく柔軟さが求められると思う。 ・電話回線が3回線のみで、保護者への連絡に不都合を感じている。 						<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、機材の充実だけでなく、システムの整理に努め、より良い業務環境の実現を目指します。 ・効率的な会議の進め方について、工夫していきます。 ・実態を踏まえ、東京都へ要望していきます。 						
分析・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・開校したばかりのため、課題は山積ですが、ひとつひとつ具体的に解決し、効率的な業務システムの整備に努めます。 										

Q7 主幹の職責を踏まえた権限強化と、効率的な企画調整会議の構築がなされているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	80%	0%	20%				87%	5%	9%	83%	2%	14%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・分掌のトップがわかりやすくなった。 ・主幹から、適切な指示や方針が出ている。 ・主幹の数が多く、職務分担ができています。 ・企画調整会議の結果がすぐに掲示板にアップされ、共通理解ができた。 ・権限の強化は、下部意識吸い上げと表裏一体の関係にある。ボトムアップの努力をお願いしたい。 ・実際に機能するまでに、もう少し時間がかかると思う。 						<ul style="list-style-type: none"> ・さらに機能するように、組織構築を進めていきます。 						
分析・方針		<ul style="list-style-type: none"> ・大規模校なので指示系統を明確にし、主幹の職責を踏まえた権限による、効率的で機能的な組織作りを進めてまいります。 										

Q8 主幹の統括分掌と担当プロジェクトを明確にした業務分担ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	10%	20%				84%	8%	8%	77%	9%	14%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担が明確になり、責任の所在も明確になった。 ・組織化がなされている。 ・仕事の分担がわかりやすかった。 ・各部署との連絡調整がスムーズだった。 ・仕事が一部に集中している。 ・業務分担により、横のつながりが薄くなった。 ・各担当でのマニュアルの作成等、連携の強化は深めていく必要がある。 						<ul style="list-style-type: none"> ・効率的に進めるため、業務分担は不可欠です。 ・横のつながりの連携は、主任教諭と連携を図ることによって進めていくようにします。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・1年目の反省を活かし、各プロジェクトの業務分担の整理を進めてまいります。 										

Q9 主任教諭の職責を踏まえた、主任担当業務が明確になっているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	40%	20%	40%				82%	9%	9%	61%	14%	24%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 分掌主任会議があって良かった。 分掌主任会は、月1回でよい。 分掌主任の役割は明確になっている。 スクールバスは、部門別に主任がいた方がよい。 分掌だけでなく、学年主任にも主任教諭の配置を望む。保護者と直接かかわるので。 						<ul style="list-style-type: none"> 1年目の反省を活かし、主任教諭の役割分担の整理を行います。 全体の様子を見ながら、検討していきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 主幹教諭の補佐役として機能できる、主任教諭の配置を行うようにしていきます。 						

Q10 個人端末等を活用した、的確な業務遂行ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	40%	10%	50%				93%	7%	0%	67%	8%	25%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 多くの教職員との連携を図るため、掲示板やメールを使用できたのは良かった。 メールの活用が役立っている。 連絡の効率化が図られていると感じる。 メールや掲示板のチェックをしていない教員がいる。多くの業務が止まってしまう。チェックしてほしい。 SNで、サーバーを共有できると良い。 データの格納場所がわかりづらい。整理が必要。 人数の割に、プリンターが少ない。 部会等も、端末を利用してできるようになると良い。 						<ul style="list-style-type: none"> メールや掲示板のさらなる活用を、検討して参ります。 メールや掲示板の確認について、徹底を図ります。 システム上の整備については、N棟の完成に伴い、3学期より進めていきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 大規模な組織なので、情報を効率的に伝えられる個人端末の整備を行っていきます。 						

特別重点3 「専門性ある人材を活用した教育の充実」

Q11 S部門の教員と学校介護職員が連携し、日常の業務にあたっているか。

評価	協議委員		S保護者		S教職員		CG		全体		
	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	43%	0%	92%	4%	87%	12%	97%	3%	74%	5%	21%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 業務中、しっかりコミュニケーションが取れている。 スタッフシートをはじめ、システムができています。 CGへの指示の出し方について、教員も工夫が必要。週1回の打ち合わせでは伝えきれない部分もある。 CGは、学級所属になると、どうしても学級中心になる傾向がみられる。 組織上の位置付けの明確さは非常に重要。成果を期待する。 今年に入って下着や衣類の間違いが多く、衛生面等ダブルチェック機能がうまく働いているのか疑問。 休務日により、CGの入れ替わりが多くなると教員の負担は減らせない。 						<ul style="list-style-type: none"> CGの配置については、今年度の反省を活かし、全体的な体制を確認しながら決定していきます。 間違いのないよう、介護指示書を有効に活用しながら、ダブルチェックで確認していくようにします。 					
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 朝の打ち合わせ時間を有効に活用し、授業や介護面での確認事項や課題を共有できるよう、徹底して参ります。 					

Q12 S部門の教員と学校介護職員との役割分担により、授業に専念できるようになっているか。

評価	協議委員			保護者			S教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
▲	30%	20%	50%				51%	49%	34%	41%	35%	42%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・とても雰囲気がよく、連携が図られていると思う。 ・先生と同様、CGにも一生懸命にいただき、愛情を感じる。 ・協働して、指導を行うことができた。 ・男性CGが不足しているため、男性教員が排せつ指導に時間が取られることがあった。 ・CGが変わると伝えなければならないこともあるので、慣れるまでは時間を要する。 ・CGについては、介助や授業補助の技術向上が必要。 ・事務処理や担当授業等、分担は増えてきている。 						<ul style="list-style-type: none"> ・新たな職種を加えた協働による授業づくりについてが課題です。 ・この点を踏まえて、次年度のS部門の研究テーマとして改善を図っていきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・CG導入初年度のため、導入前の肢体不自由特別支援学校の状況と比較し、マイナス評価が多く出たものと思われます。 ・1年目の実績を踏まえ、資料作成等、より効率的な指示伝達システムの整備を図っていきます。 										

Q13 S部門の学校介護職員は、児童・生徒の状況を把握し、適切に対応しているか。

評価	協議委員		S保護者		S教職員		CG		全体			
	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	プラス評価	マイナス評価	未記入	
○	40%	10%	88%	8%	79%	20%	97%	3%	69%	13%	18%	
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童生徒の様子を把握し、よく見てくださっていると思う。 ・4月は心配もあったが、今は適切に対応していただいていると思う。 ・マンパワーは増え、事故は減ったと感じる。 ・名札の紐の色だけで区別は、わかりにくい。 ・指示書などを、きちんと活用してほしい。介護業務手順書を確認する日を、意図的に設けると良いのでは。 ・応援に入った学年や学習グループの児童・生徒の状況を把握することが難しい。 ・1年で辞めず、長く勤めていただくことが課題。 ・CGも慣れてきたので、今後に期待している。 ・指導方針について、教員との共通理解が必要である。 						<ul style="list-style-type: none"> ・介護業務手順書の確認日等、検討していきます。 ・長く勤めていただける、魅力的な職場環境づくりに努めます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・2年目となりますので、業務内容を理解し、担当学部内の児童生徒の実態把握が広く進められるよう、介護業務手順書等の有効活用の仕方について、検討して参ります。 										

Q14 N部門の教育支援員の助言は、児童・生徒の理解及び学習指導の充実に生かされているか。

評価	協議委員			N保護者			N教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	40%	0%	60%	71%	6%	23%	99%	1%	0%	70%	2%	28%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントにより、必要な課題が見えてきた。 ・授業に取り入れていただき、有効だった。 ・具体的な支援方法が聞けて、参考になった。 ・児童全員にアセスメントは、良かった。 						<ul style="list-style-type: none"> ・一度だけでなく継続されると良い。 ・経験の浅い先生には、助言に入った後も、期間をあけて効果の確認をしてほしい。 ・評価が児童のいる時間に行われたこともあり、体制の配慮が必要だった。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指導に効果的に活かしていくために、アセスメントの進め方等、検討していきます。 						

Q15 S部門の学習指導アドバイザーの助言は、児童・生徒の理解及び授業者支援、保護者支援に生かされているか。

評価	協議委員			S保護者			S教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	30%	10%	60%	79%	6%	15%	78%	16%	6%	62%	11%	27%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・とても良い機会をいただき、感謝している。 ・今まで気付かなかったことに気付かせてもらったり希望が持てるような言葉をかけていただき、元気をもらい、大変ためになった。 ・専門的な助言をいただけるのは、とても良い。 ・アドバイザーの先生の意見を、学習に生かしてもらえよう期待している。 						<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への伝達は確実に増えているが、学習グループの授業の中では、まだ生かし切れていないのでは。 ・教員がマンツーマンで抜けるので、残留体制の配慮が必要。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント結果の学年及び学習グループ内での共有方法等確立し、授業に活かすシステムづくりや教職員・保護者への研修を、引き続き進めていきます。 						

Q16 N部門の臨床発達心理士の助言は、児童・生徒の理解及び授業者の支援、保護者の支援に生かされているか。

評価	協議委員			保護者			N教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	40%	0%	60%				78%	10%	12%	59%	5%	36%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・教員経験のある方に助言いただけるので、すぐに実践に生かすことができる。 ・放課後に話を聞けたので、長く話せ、良かった。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、活用できるようにしていきます。 						

Q17 教材アドバイザーを活用した、教材情報や教材作成環境の充実が図れたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	0%	30%	35%	11%	53%	76%	13%	11%	61%	8%	31%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 授業で使いたい装置を製作してもらえありがたい。 今後も継続し教材情報や環境の充実を図ってほしい。 教材の展示スペースがあり、参考になる。 アドバイザーの来校日を知っていても、なかなかいくことができなかった。 アドバイザーさんに、作り方を教えてもらえる機会があると良い。 3年後「教材カタログ作り方付」ができ、ホームページ等にアップされると良い。 						<ul style="list-style-type: none"> 活用が図られる工夫を、担当部署で考えていきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 広く活用し、授業につなげられるよう、今後も引き続きお願いしていきます。 										

最重点1「授業力の向上」

Q18 授業者支援会議は、効果的に活用されているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	0%	40%				76%	7%	17%	68%	4%	28%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 時間的に簡略化できて良かった。 沢山助言をいただき、少しずつだが改善している。 若手教員の研究授業をたたき台に、実は皆の授業力向上を目指してきた経緯もあり、教育課程別の授業研が行えると良い。 授業から抜けるため、体制の調整が必要。 授業を見ていない人が司会者になると、進めにくい。 改善した授業をしても、その後のフォローがなく、そのときのみになってしまうのが残念。 						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、授業者支援会議の内容が充実するように、支援者への研修システムの確立を図ります。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 授業者支援会議が授業改善に効果的につなげられるよう、引き続き、システムの確立に努めます。 										

Q19 授業力向上研修は、日々の指導や家庭での生活に活用することができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	0%	30%	28%	4%	69%	81%	6%	13%	60%	3%	37%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の指導に取り入れた。 研修内容を授業に生かしてみようというモチベーションにつながる。 CGも受けられると良い。 難しいかもしれないが、障害の程度別の、より具体的な学習会を設けてほしい。 予定がもう少し早くわかると助かる。 プール期間中だと参加しやすい。 						<p>(今後の方針のとおりです。)</p>						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> これからも、日々の指導に活用することのできる、実践的な研修の計画・立案に努めます。 										

Q20 授業ガイドや通知表の作成を通し、説明力を向上させられたか。授業ガイドで、授業のねらいを理解できたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	80%	0%	20%	83%	5%	13%	77%	12%	11%	80%	6%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 通知表は写真付きで、保護者にも好評だった。 通知表と個別指導計画の役割がわかりづらい。 通知表に、中学部でも個人写真は必要か。高等部の生徒に、マークはそくわないのではないか。 準ずる教育課程の通知表の形式については要検討。 授業のねらいが記入されていることは良かった。 授業ガイドを記入することで、指導内容を確認することができて良い。 学習内容や方法等の概要がわかり、見通しのある授業が見える。 保護者の方にわかりやすい、授業の一覧表があるとよい。 論理的に表現したことが、授業に役立った。 授業ガイドは、もう少しテーマを絞り、簡潔に書く形で良いのでは。 このシステムに全員が慣れるには時間と労力が必要だが、重要かつ意義のあることだ。 						<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画の書式については、通知表との差別化を図るため、改善するよう、作業を進めています。 S部門準ずる教育課程の通知表については、一般の学校と同じ形に、変更する方向で検討しています。 授業ガイドは、わかりやすくまとめるように工夫します。 御意見を受け、12月の授業参観日より、一覧表を配布するようにしました。また、他学部の授業ガイドもお渡しできるように準備しておりますので、御希望の方はお声かけください。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 授業ガイドを通し、保護者や外部の方へ授業の概要を伝えることができるよう、今後も継続して取り組んでいきます。 						

Q21 教材展で得た情報を、日々の指導や教材作成に生かすことができたか。日々の授業について、満足できる指導がなされているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				88%	8%	5%	83%	8%	9%	86%	8%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 他部門の教員のアイデアが参考になった。着眼点の違いを感じた。 様々な教材を見て、視野を広げることができた。 データベース化していけると良い。 当日出張で参加できない人もいたので、夏季休業中どこかに展示しておけると良い。 「人による」のが実情だが、授業力は教員の専門性の要教材は授業展開の要なので、全教員への定着が大切。 個人面談等で話した内容をすぐに実践していただき大変嬉しい。 個々の能力を把握し指導されている。連絡帳で細かく報告がある。 少しずつだが確実に子供が成長しているのを感じる。 個別の指導が行き届いている。 家庭での気になる行動を伝えるとすぐに動いてくれてありがたい。 デイサービス、ヘルパーにも密に様子を伝えていただきありがたい。 授業のポイント、様子を連絡帳に詳しく書いてくれる。 参観の機会が少ない。 						<ul style="list-style-type: none"> 教材展の設定の仕方、案内の出し方については、検討いたします。 教材・教具の校内での共用の仕方について、これから検討していきます。 参観日でなくても、いつでも観にいらしてください。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、日々の授業につなげることのできる研修を、計画的に取り入れていくように努めます。 						

Q22 教材アドバイザーを活用する等、教材作成を活発に進めることができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	50%	10%	40%	91%	4%	5%	72%	16%	12%	71%	10%	19%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 学年便り、学習グループ便り等で、教材についての情報が伝わってくれば、評価は上がると思う。 教材を作成した物を共有化することができるとうい。 教材に関するファイルを作成、教材リストを作る等。データベース化も考えられる。 両部門の技術室が使えるとうい。 						<ul style="list-style-type: none"> 教材の共有化など、今後はシステムを整えていきます。 						
分析・方針		来年度も教材展を計画し、授業を豊かにする教材作りを推進していきます。										

Q22-2 個別指導計画に基づいた、充実した指導は行われているか(保護者のみ)。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				91%	4%	5%				91%	4%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子をしっかりと観察し、理解して計画をたててくださり、充実していると思う。分かりやすい。 保護者以上に先に先生がいろいろなことに気づいて下さり、それを次のステップに必ず進めて下さっていて本当に感謝している。 追いつけ追いつけではなく、はなれていくばかり。追いつかせようとういのが見えない。個々に対応するとういなら、本当に個々にきちんと対応してほしい。 素材、感触遊びがもう少し充実するとういと感ずる。 体遊び、リズム遊びも取り入れてほしい。 個別に合わせた教材を準備してほしい。 課題に合った宿題を出してもらっている。 ていねいに根気強く指導していただき、できることが増えた。 担任が細かな要望も相談にのってくれている。 副籍校での出前授業はわかりやすい内容だった。 療育機関との連携もとれている。 指導計画を見直してもらったが、その後どう変わったのかなか伝わってこない。 去年よりレベルが下がっている。 個別の時間が無くならないように、子供の学ぶ大切な時間を取らないようにしてください。 						<ul style="list-style-type: none"> 個別指導計画は、保護者との連携のもと、進めていきます。不十分な点につきましては、個別面談時や連絡帳等でお知らせください。改善していきます。 						
今後の方針		保護者との連携を密にとり、児童生徒の実態に合った指導を進めることができるよう、ねらいを明確にした個別の指導計画の作成に努めます。										

最重点2 「言語能力の向上・読書支援の推進」

Q23 読み聞かせや調べ学習、本の貸し出し等、多様な言語活動を展開することができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	90%	0%	10%	59%	14%	27%	92%	5%	3%	80%	6%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> オープンライブラリーは、充実していて魅力的。 他校を参考に、本の展示方法とを工夫したり魅力ある図書室づくりに取り組んだのは良かった。 図書室の利用が増えた。 廊下を通るだけで本に触れられるのは良い。 S/N両部門が一緒に使用している点も良い。 全校児童・生徒のことを考えると、スペースが狭い。 オープンライブラリースペースに、座れる場所があるとよい。 						<ul style="list-style-type: none"> N棟の図書室の整備を引き続き行い、改善を図るようになります。 						
分析・方針		S部門中学部高等部が行う作業学習を通し生徒の参画も促しながら、引き続き、オープンライブラリーの整備を図り、一人一人の言語活動の充実を目指します。										

Q24 オープンライブラリーやIT等を活用した授業を行い、思考力や判断力、表現力等の育成を行うことができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	60%	13%	27%	78%	11%	11%	79%	8%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 鹿本の大切な財産になると思う。地域の方にも利用してもらえると良い。 知的代替の教育課程や準ずる教育課程を中心に、表現力の学習は重要と感じるので、全校的な課題にしていきたい。 季節ごとのやテーマを設けて期間限定で展示するなど今の活動を継続してほしい。 図書室が狭くなり、借りたいものが、すぐに見つからず、区の図書館を利用する機会が増えた。 iPadの順番がなかなか回ってこなかった。 N部門に関しては、タブレット端末を活用しているところを、あまり見たことがない。 						<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の利用については、時期や方法について、検討していきます。 3学期より、教育用 i Padが増えたので、活用を拡大していきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、オープンライブラリーやIT等の充実を図ります。 										

Q25 タブレット型端末を活用した調べ学習の充実やプレゼンテーション能力等の向上を進めることができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
—	50%	10%	40%				51%	31%	18%	50%	21%	29%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> iPadを活用して指導ができる点は良い。 無線LAN環境がないため、十分に活用できない。 数量不足。 使い方を学ぶ必要がある。校内で研修できないか。 						<ul style="list-style-type: none"> 評価時には数量が少なく、利用できていない人が多かったため、評価できない方がたくさんいたようです。このため、評価は保留とします。 評価は、整備が整った来年度に引き継ぎます。 3学期に無線LAN環境が整うように、整備を進めていきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 評価時にはタブレット型端末の数が不足していましたが、2学期後半に多くの端末が導入されました。これから環境を整えていきます。 										

Q26 音声メディア貸出システム「聞く読書支援」等の整備や、活用を行うことができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
—	50%	20%	30%				48%	34%	18%	49%	27%	24%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 利用者には好評だった。 端末が不足しているので、より多くの子供たちが活用できない。 						<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、試行として伊藤忠記念財団の協力を得て数台導入されていますが、利用できた方が限られたため、利用状況の評価を保留とします。 評価は、整備が整った来年度に引き継ぎます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 学校所有のタブレットが導入されたので、ソフト等を購入し、次年度からは拡大していきます。 										

Q27 言語能力や文字に関する能力を高める授業力向上研修の実施を行うことができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	10%	30%				79%	7%	14%	69%	8%	22%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 授業を行う上で、非常に参考になった。 一度研修を受けることで、個々の授業に生かすことができる。 落語家さんの話が聞いて良かった。 						<ul style="list-style-type: none"> 障害種別を超えた、根幹としての研修であるにとらえています。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 来年度も、引き続き計画していきます。 										

最重点3 「児童・生徒が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築」

Q28 各部門の障害特性に応じた危機管理マニュアルの作成や合同防災訓練の実施ができたか。防災面の取り組みは進んでいると思うか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	0%	30%	95%	2%	4%	95%	4%	1%	87%	2%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・まちcomiの配信で安心できる。 ・災害伝言ダイヤルの訓練に取り組んでいて、良い。 ・災害時、学校からではなく家庭からの情報を受信できるシステムも必要では。 ・しっかりしたわかりやすいマニュアル及び指示系統の実践的理解と判断力、行動力が重要。年度当初の指導の徹底が必要。 						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、より良い方法を検討していきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、様々な災害を想定した、現実的な避難訓練を計画していきます。 						

Q29 地域との災害時相互協力関係の構築がなされているか。施設面での防災対策は十分だと思うか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	0%	30%	82%	7%	11%	84%	5%	11%	79%	4%	17%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・防災推進委員会に、近隣の自治会や消防、区の方々に参加されているため、顔と名前は一致している。 ・高学年になったら、防災ずきんからヘルメットに変更してほしい。 ・階段の、真ん中の手すりは邪魔。 ・訪問先での授業中や移動中の対応への確認が必要。 ・エレベーターがすぐに使えない(暗証番号を忘れて)。 						<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメットの使用については、SNの特性や年齢に合わせ、適切な対応ができるよう、より良い方向を検討していきます。 ・階段の手すりは、S部門の歩行訓練のために必要ですので、御理解ください。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> ・特にN棟新校舎を中心に、施設面の安全対策については、引き続き確認、改善していきます。 						

Q30 万一の事故を教訓とした再発防止策の徹底を行うことができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	50%	20%	30%				92%	7%	1%	71%	13%	16%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> ・再発防止研修等を通し、細かく原因究明をして再発防止に努めている。 ・プールの時期の前に、溺水対応の訓練を行うべき。 						<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、研修ビデオを用いての講習を行いました。次年度は早めにプールに水を入れ、実際に即した研修を計画していきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、事故が起きた際の学年、学部単位で行う状況検証及び部門で行う再発防止研修を通し、事故の再発防止の徹底を図ります。 						

Q31 飛び出しや迷子、怪我の防止等、安全な施設設備の利用ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	10%	30%				95%	5%	0%	77%	7%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 経営企画室と連携して、進められている。 事故報告を行っていることで、どのような事故が想定されるかがわかり、良い。 工事関係では、決定した時点で連絡してほしい。 窓や扉等の解放制限や挟み込み防止のため、必要な物品の調達や予防措置が行えた。 生徒の怪我等に関するインシデント・アクシデントは速やかに全教職員に周知し、再発防止に取り組めた。 						<ul style="list-style-type: none"> 施設面については、経営企画室を中心に、現時点でできる限りの対応を進めています。 事故については、インシデント・アクシデント報告を速やかに行い、全校でその状況や対策についての共通理解を図っています。 						
今後の方針		今後継続して全校での確認を行い、再発防止に努めます。										

Q32 スクールバスの安全発着体制や一人通学の指導体制等、通学環境の整備は行えているか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	10%	30%				94%	4%	2%	77%	7%	16%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 時間になったら一斉にバスに乗る、門は閉めておく等安全に配慮されている。 スクールバス発着の際の安全確認教員の不足。改善が必要。 バス乗車時間が徹底されていない。 一人通学の指導が進んできている。 一人通学について、情報が共有されていてよい。 						<ul style="list-style-type: none"> S・N両部門のスクールバスの出入り口が共通になったことで、体制も変化させています。安全に乗降車できるよう、確認していきます。 安全確認教員については、さらに人数を増やすよう、検討していきます。 						
今後の方針		新体制でのスクールバスの安全発着体制については今後検証、確認を行い、安全に進めることができるよう、検討していきます。										

最重点4 「安心できる保健体制と安全でおいしい給食を提供できる体制の構築」

Q33 2部門拠点型に応じた、保健・緊急対応システムは整っているか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	10%	30%	89%	3%	8%	88%	8%	4%	79%	7%	14%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> PHS導入により、連絡がスムーズになった。 養護教諭が、児童・生徒の一人一人の実態を把握し対応してくれている。 N部門に養護教諭が一人しかいないのは不安。 感染に関する情報の提供をこまめに行ってほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 2学期まで2部門2拠点型であったため、PHS導入等を回り、努力して参りました。御協力してくださり、ありがとうございました。 						
今後の方針		非常勤の養護教諭も含め、4名体制で両部門をカバーしあい、今後も対応していくように努めます。										

Q34 適切なアレルギー対応を行うための教職員の資質向上、及び校内体制の整備は行えたか。
アレルギー対応や医療的ケアは、安心・安全な環境の下、適切に行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	10%	30%	74%	1%	25%	96%	1%	3%	77%	4%	19%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対応が、しっかりされている。 整ってきている。 アレルギー対応も改善が見られた。 アレルギーのある子が一目でわかる対応が必要では、アレルギーバッチの着用など。 チェック体制が形骸化しないようにすることが必要。 エビバンの研修を行うことができなかった(スクールバスの運転手・用務員も含めて)。 						<ul style="list-style-type: none"> アレルギー対応については、継続して検証、検討を進め、安全に留意していきます。 						
今後の方針						アレルギー対応や医療的ケアについては、繰り返し研修や確認を行い、安心・安全に行うことができるように努めていきます。						

Q35 都方針を踏まえた、安心・安全な医ケア制度の啓発を踏まえた医療的ケア体制の構築はなされているか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	40%	20%	40%				88%	3%	10%	64%	11%	25%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 保健室スタッフのおかげで、日々事故もなく安全に医ケアが行われ、感謝している。 教員、看護師の協力体制は、学校介護職員が導入されても、変わらず行っている。 CGの医ケア実施が課題。 非常勤看護師の人数が少ない。医療的ケアの時間に影響がある。 スクールバスに乗ることにできず、訪問になった人もいる。難しいことではあるが、何とかならないか。 						<ul style="list-style-type: none"> CGの医療的ケア実施については、今後検討していきます。 現在東京都では、スクールバス乗車中に医療的ケアを必要とする可能性のある方については、スクールバスへの乗車が認められていませんので、御理解よろしくお願いたします。 						
今後の方針						都方針を踏まえ、今後も安心・安全に医療的ケアを実施することができるよう、校内体制を整えていきます。						

Q36 2校舎2厨房環境に応じた、安全でおいしい給食提供システムは確立しているか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	50%	10%	40%				92%	6%	2%	71%	8%	21%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 給食試食会に参加したので、「安心・安全」のために日々努力してくださっているを感じる。 形態食が良く、安心して摂食指導が行えた。 補助の先生が毎日変わるのには落ち着かない。 給食試食会、講習会等、努力されている。 N部門の軟食、偏食対応、使用食具、食器の見直しが必要。 毎日、安定して提供されている。 						<ul style="list-style-type: none"> N部門の食事指導、特別対応食について、併置化の良さを進めながら、検討を進めてまいります。 						
今後の方針						新校舎が完成し、1校舎1厨房の給食提供システムがスタートしました。引き続き、安全で美味しい給食を提供することができるよう、栄養士はじめ、調理員の方々、教職員と連携を図っていきます。						

Q37 安全でおいしい給食提供システムの、1校舎1厨房への円滑な移行はできているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
未実施	0%	0%	100%				0%	0%	100%	0%	0%	100%

※評価時点では未実施でしたが、現在は新校舎が完成し、円滑に移行が進められています。

最重点5「地域支援の向上」

Q38 就学・教育相談、地域支援、進路指導等对外機能を一本化した「サポートデスク」を設置できたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	0%	40%				85%	8%	7%	72%	4%	24%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 担当業務が明確になって良かった。 对外機能を総合コーディネーターが掌握することは学校への地域の信頼を高めることに繋がり良い。 就学前の茶話会など、幼児教室も必要ではないか。 N中1対象の進路学習会、進路関係支援事業は良い。 情報の共有が大切。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、就学・教育相談、地域支援、進路指導等の对外機能について、SN両部門で連携を図りながら、適切に対応できるサポートデスクの実現に努めます。 										

Q39 学校のホームページ等を活用し、保護者向け学校外活動等の情報発信や地域向け情報発信は行えたか。学校のホームページを定期的に確認し、様々な情報を活用することができるか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	80%	10%	10%	53%	21%	26%	84%	13%	3%	73%	15%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 学校へのアクセス情報が丁寧で外部の方が来やすい。 HPは毎日見ているが写真や活動に変化が見られない。 行事予定があると良い。 休校情報なども載せてもらえると良いのでは。 行事等の写真があると良い。 読書週間とかひまわりのせいくらべなど、ちょっとしたニュースが発信できると良い。 コンテンツ作成に協力できる体制づくりが必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 掲載内容については、御意見を参考に、引き続き検討を進めていきます。 						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の様子を折に触れ載せられるよう、引き続き努力していきます。 										

Q40 卒業生の自立支援のための校内販売機会の提供と、卒業後情報の校内還流は行うことができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	30%	10%	60%				87%	4%	9%	59%	7%	34%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 校内販売はとても良い。 保護者来校時にも、機会がほしい。 今後も、卒業後情報を積極的に知らせてほしい。 生活介護施設の情報提供が、できるとよい。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> 多様な就労機関が販売できるよう、努めていきます。 										

Q40-2 学校生活に関して、家庭内で話題にする時間を十分に持つことができているか(保護者のみ)。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				79%	11%	9%				79%	11%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)												
<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳に書いてあることを家庭でも話題にしている。会話のきっかけにしている。ホームページでブログを開設してくれると、更に話題にできる。 						<ul style="list-style-type: none"> 御家庭の中で、学校の話がされることを期待し、努力していきます。 						
今後の方針						御家庭の中で、学校の話がされることを期待し、努力していきます。						

Q41 地域の教職員を支援する公開研修やオーダー型支援の提供を行うことができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	80%	0%	20%				78%	8%	14%	79%	4%	17%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 研修案内を区内小中学校に配布したことで、多く参加してもらい、研修の場を提供できた。 教材展で行うことができている。 地域に出て専門性を発揮することは特別支援学校の信頼に反映される。期待したい。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針						引き続き、地域の教職員を支援する公開研修やオーダー型支援の提供ができるよう、努力します。						

Q42 本校及び地域の保護者を対象とした学習会等の提供は行うことができているか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	80%	0%	20%				91%	1%	8%	86%	1%	14%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 保護者向け研修は参加者が多く、ニーズが高いことがわかった。 良い研修があるにも関わらず、保護者参加が少ない。 午後の時間の設定があると良い。 保護者に学習会について聞かれても、内容がわからないので、レジュメなど、掲示板で知らせてほしい。 摂食指導の保護者研修会を、学校主催で行いたい。 						<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方々が参加しやすいよう、時間設定等を工夫していきます。 教職員への周知を、しっかり実施します。 						
今後の方針						引き続き、提供していきます。						

最重点6 「魅力ある学校環境・職場環境の創出」

Q43 読書活動の、活字に親しむための教育環境整備(オープンライブラリーの整備・拡充)は行うことができたか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	80%	0%	20%	72%	10%	19%	95%	4%	1%	82%	5%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 興味をもつような、工夫がされていると思う。 積極的に導入している、という印象を受ける。 オープンライブラリーは特徴的な取り組みであり、もっと外部にも情報発信してほしい。 幅広い実態の子供たちがいるので、様々な種類の本がもっとあると良い。 貸出期間を2週間にしてほしい。 						<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中については、長めに設定していますが、貸出ルールについては、検討していきます。 						
今後の方針						オープンライブラリーのさらなる充実に努めます。						

Q44 新校舎と統一感のある校内案内誘導表示の全校的整備は行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
未実施	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	0%	100%

※1月に新校舎が完成してから、校内表示の整備について、順次進めているところです。

Q45 花壇や畑・第2校舎エリア等、学校施設の美化は行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	80%	0%	20%	85%	4%	11%	94%	5%	2%	86%	3%	11%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 花壇や学校のフェンス周りがきれいになった。 いつもきれいに掃除をしていただきありがたい。また挨拶していただき、気持ちよかった。 ベランダのプランターの管理が甘い。 栽培が終了した後も、枯れた植物が放置されているところがあった。 ひまわりは、来校時に楽しませてもらった。 植物を、たくさん育ててほしい。 場所によっては、段差が多く転びそうなお所がある。 						<ul style="list-style-type: none"> 収穫後の花壇の整備を徹底します。 N棟の完成に伴い解消されてきているかとは思いますが、御注意ください。学校生活の中でも、安全面には留意していきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 花壇の整備は、引き続き徹底していきます。 						

Q46 働きやすい執務環境の整備は行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	50%	0%	50%				84%	16%	1%	67%	8%	25%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> クリーンデスクが進み職員室の見通しがよくなった。 職員室が狭いが、致し方ない。 せめて椅子が小さいと良い。もったいないが、長い目で見てどうにかならないか。 職員朝会の声が聞こえない。隣の学部の声が響く。 電話回線の増設を望む。 パソコンの効率化を図るべき。 年度が変わる際、デスクが移動しやすい。 						<ul style="list-style-type: none"> 電話回線については、東京都に要望を出していきます。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせや作業スペースを考慮し、できる限り働きやすい環境を整備して参ります。 						

Q47 自転車置き場の充実、出張販売店の拡充等、学校環境・職場環境の改善は進められているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	0%	40%	68%	11%	21%	90%	7%	3%	73%	6%	21%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 自転車置き場にゴムシートが敷かれたのは良かった。しかし、使用していると凸凹になってきて、倒れやすいことはある。 砂利は仕方ないが、歩きにくい。 スロープの低いところは、頭をぶつけそうで怖い。 出張販売は充実していてよい。 出張販売の業者(作業所等)に、卒業生がどのように関わっているのかの広報があるとよい。 トイレ清掃業者の掃除の仕方の改善が必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 多様な就労機関が販売できるよう、努めていきます。 清掃業者には、経営企画室を通してお伝えしています。 						
今後の方針						<ul style="list-style-type: none"> 自転車置き場の砂利は、雨水を染み込ませるための雨水浸透ますという役割があるためです。その中で、可能な限り使いやすい対応を進めているところですので、御理解お願いします。引き続き、学校環境、職場環境の改善に努めていきます。 						

教職員個々の重点目標

Q48 体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいるか。

教職員に関して、体罰や不適切な指導をなくすための取り組みが、十分に行われていると思うか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	10%	30%	83%	3%	14%	96%	3%	0%	80%	6%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 先生たちは、愛情をもって子供たちに接していただいていると感じる。 会話ができない子供たちは、学校で何があっても親に伝えることができない。いつも身近にいる先生方同士でも、常に気を付けてほしい。 体罰だけでなく、不適切な言葉も使用しないように指導してほしい。 感情的な行動は控えてほしい。 生徒を「お前」と呼んでいる教員がいたのが気になる。子供に声を荒げている先生を見かけると悲しい。どのような対策が行われているのかわからない。 						<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重につきましては、教職員として根本的に必要な事だと考えております。毎年、研修等を実施し、人権尊重の意識を高くもち、指導を進めていきます。 人権尊重に関しては、さらに徹底していきます。 						
今後の方針		・人権尊重に関しては、さらに徹底していきます。										

Q49 クリーンデスクを含む個人情報保護等、人権尊重の推進は行われているか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	0%	30%				95%	5%	0%	82%	3%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 机上の高さ等ルールができ、意識は高まった。しかし、まだ徹底はされていない。 書庫がもう少し有効に活用できるとよい。 プリンター周りに放置されている書類の早急な処理が必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 書庫の利用法については、検討します。 プリンター周りの書類の処理については、徹底していきます。 						
今後の方針		・継続して、クリーンデスク及び個人情報の保護の徹底を図ります。										

Q50 学園教職員として、誇りある行動実践ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員(CG含む)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	60%	10%	30%				97%	2%	1%	79%	6%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 常に、社会人としての規範を意識している。 学園教職員独自の、誇りある行動がどのようなものであるかということが、周知されていない。 						<ul style="list-style-type: none"> 校長講話や全校連絡会での伝達で述べてきたつもりですが、今後もわかりやすく伝わるように努めてまいります。 						
今後の方針		・児童生徒が、鹿本学園で学んで良かったと誇りをもてるように努めます。										

教職員個々が経営参画するための具体的行動指針

Q51 授業者支援会議へ指導者として参画し、指導・改善力を向上させることができたか。

評価	協議委員			S教職員			N教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	70%	0%	30%	49%	22%	29%	51%	15%	34%	57%	12%	31%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 目標が明確で、短時間で効率的に行うことができた。 助言してほしいことを絞ったことで、具体的な案をもらうことができ良かった。 N部門は1担が多く、支援者として参加できる人が限られてしまうのが課題。 早めに予定がわかるとよい。 						<ul style="list-style-type: none"> 研究育成部を中心に、課題について工夫をし、システムの改善を図っていきます。 						
今後の方針		引き続き、具体的な授業改善につながる支援会議となるよう、工夫していきます。										

Q52 授業者支援会議へ支援者として参画し、支援・助言力を向上させることができたか。

評価	協議委員			S教職員			N教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	70%	0%	30%	56%	22%	22%	52%	19%	28%	59%	14%	27%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 短時間に、効率的に行うことができた。 授業者支援会議については、支援者が大切。また、学習指導案の指導などについては、校内組織としてOJTを推進できるようにしていくことが必要。 						<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、授業者支援会議の内容が充実するように、支援者への研修、システムの確立等を図ります。 						
今後の方針		引き続き、具体的な授業改善につながる支援会議となるよう、工夫していきます。										

Q53 免許所持教科等に関する校外の研究授業・教科研修への参加を通し、教科等の指導力を向上させることができたか。

評価	協議委員			S教職員			N教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	50%	10%	40%	80%	15%	5%	64%	21%	15%	65%	15%	20%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 研修の情報が掲示板に挙げられ、参考にして参加することができた。 夏の校内研修の予定の周知が早いと、もっと研修が組みやすい。 校内への還元が難しい。準ずる教育課程にかかわる教員の学部間の連携を図れるとよい。 						<ul style="list-style-type: none"> 研修の予定が早く決定するように、努力いたします。 						
今後の方針		引き続き、免許所持教科に関する校外の研究授業・教科研修への参加を促し、教科等の指導力向上に努めます。										

Q53-2 開発した指導プログラムと教材に関し教材展にエントリーする等、指導情報の発信力を向上させることができているか(協議委員のみ)。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	70%	0%	30%							70%	0%	30%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 教材展は、効果的な取り組みだと思う。 教材展は、教師として何をすべきか何をしたか、という視点で自分の歴史を刻める重要な機会である。 						(今後の方針のとおりです。)						
今後の方針		教材展は、地域支援の視点からも継続し、充実を図っていきます。										

Q54 PTAや部活動等、地域活動に支援者としての参加を通し、進路指導や生活指導力を向上させることができていると思うか。

評価	協議委員			S教職員			N教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	70%	10%	20%	77%	17%	6%	66%	22%	12%	71%	16%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 積極的な教職員、無関心な教職員の格差が大きい。 様々な事情から、参加が難しい実情であり、申し訳ない。 						<ul style="list-style-type: none"> 教職員の負担が集中しないことと合わせ、授業以外での連携も、とても重要なことだと考えます。多くの教職員に参加してもらえるよう、協力依頼をしてみたい。 						
今後の方針		引き続き、PTAや部活動等、地域活動への支援者としての参加に努めます。										

Q55 自由意見

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<ul style="list-style-type: none"> 学校経営全般においては、大きな改善が図られている。特に、肢知併置への配慮は、今後の発展を期待したい。教職員の大変さはあるかもしれないが、専門家として乗り越えるべきところと思う。 S部門の、教職員のかかわり方については、チームの先生方の連携がきちんと図られて(共有化できていない場面が見られ、疑問を感じた。 「虹の交流校」の交流は、児童生徒の授業の中でも交流が展開されることに期待する。 校舎建設の遅れは問題。正門を利用している児童・生徒に事故があった場合、どのように責任を取るのか。 水筒には、水やお茶以外に、スポーツドリンクを入れたい。冬季は水分補給が難しいので、冬季だけでも許可してほしい。 性の問題について話が聞きたいが、どこに相談したらよいかわからない。 学校で撮った写真を売ってほしい。フェイスブックに載せないとサインするとか考えてほしい。 学校便りに、学級の様子や計画等も載せてほしい(N)。 自立活動は同性にお願いしたい(S)。 新校舎ができていないのでどうなるかわからないが、SNがどのように交流するか、親としては楽しみ。 SB三者懇談会はあった方がよい。 夏休み中に1日くらいは、プールに入れない人にも登校日がほしい。 入学後1週間は付き添ったが、その間担任は子供との触れ合いがなく、心配。 自立を考えると、タイムスケジュールに合わせて行動することも指導してほしい。 スクールバスの運転手さん乗務員さんは良い方だが、会社の事務方は感じが悪く失望した。 医療的ケアがあってもスクールバスに乗れると学校に行けるのに残念。 虹輝祭や運動会の振り替え休日は、6日続きの投稿にならないよう、前倒しにしてほしい。 校外学習の際、遠方であれば医療的ケアの人もスクールバスに乗って近場だと乗れないのはおかしい。 教室が少ないために、給食のたびにマットを片付けるのは埃もたち不衛生。どうにかならないか。 S部門にも、教育支援員(たすく)のアドバイスがほしい。 併置校となったが、大きく混乱することもなく、学校生活を送ることができ、良かった。 学校介護職員が導入されマンパワーは増えたが、やはり、今後のことを考えると、より介護技術の高い、経験のある方の導入を望む。 新学期にもらう教科書が学校の授業で使われてない。 せっかく併置校になったのに、スポーツフェスタや虹輝祭などが部門別で、見学や応援をすることもなく、該当部門以外はお休み、というのは残念。 社会見学等への前年度の要望を受け止めていただいて改善していただけたこと、うれしく思う。 子供の可能性を導き出し、それが学校を出た後にも本人の力となるような教育を、今後も引き続きお願いします。 授業者支援会議での切磋琢磨を通し、学級経営力教科等の指導力を向上発展させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 早急に改善します。 担任にご相談ください。 写真の販売については、まずは卒業式で新たな方法を導入し、その結果を踏まえ、今後の在り方を検討していきます。 学園生の実態は、一人一人多様です。障害の状態や年齢も異なり、子供を育てる保護者にも、様々な意見があります。より良い学校生活が送れるように、皆様が学校に寄せてくださった意見ひとつひとつをきちんと受け止め、今後の学園の教育に最大限活かしていきます。御意見を寄せていただき、ありがとうございました。